



富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

教育の原点は家庭に…高齢者の役割とは…

「人生 100 年時代における人生設計」……

これは文科省“高齢者教育の復興・超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会”での資料です。その一部を紹介します。



「人生 100 年時代における人生設計」人生 100 年あれば、1つのキャリアを終えてから、新たなキャリア

に挑戦する多毛作人生も十分可能であり再チャレンジが求められる。別の言い方をすれば、長寿社会とは、性別や過去の慣習・経歴にとらわれず、一人一人が選択的に自身の生きがいを選び取る余地が増えた時代であるといえる。その中で、すべての人が自己実現を果たし、これまで気付かなかった新しい世界や新しい自分を発見し、生きがいをもってより自分らしい豊かな人生を選び取ることができるようにすることが、これからの生涯学習に求められている。

また、子どもや若者にとって、高齢者は自分たちの将来像である。高齢者が自身の役割を認識し満足のいく生き方をすることは、子どもや若者が人生の成熟を理解し、将来に希望を持つことにもつながる…

正に、ことぶき大学の目指す姿でもある。前回のことぶき大学の先輩であり、現在切絵クラブ講師の松浦哲男さんをゲストにお迎えしての教育談義はとても意義深いものでした。

松浦さんの幼少期はどの家庭にもたくさんの子どもがいて、家族の一員として一人一人が役割を担っていた。家庭という一つの小単位の社会が基本としてあり家庭が教育の原点であった。子どもの外遊びの中にもガキ大将がいて一つの地域社会ができ、自然と人間関係が築かれていた…しかし、少子化、核家族化ではそれが不可能である…



今後、人口減少が一層進み、年代構成が“つぼ型”“ひょうたん型”へと移行するのではないかとされている…ひょうたん型とは中間層である働く若者層が減少するということである。働き手が激減すると否応なく高齢者が働き手となり社会を支えていくことになる。文科省は人生 100 年、多毛作人生が可能だといっている。多毛作とは **同一の耕作地で一年間に三回以上、次々と種類の異なる作物を作付けし収穫することだ**。人生再スタートが可能という見方もできる。今からでも信念、希望、意欲があれば自分の夢を実現できるということでもある。さあ、皆さん、人のため社会のため、そして自分の夢を叶えるためにどんどん働きましょう！ということでしょうか…

これからもいろいろなテーマでもっともっと話し合いができるよう準備や工夫をしていきます。松浦さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

学年別研究…進めますか？



第2研究生 「演劇」

今さんの脚本がほぼ完成したようです。

題は「夢」…久しぶりの源五郎さんは、いったいどんな夢を見たのでしょうか…

「この世は舞台、人はみな役者だ」最も偉大な劇作家とも称されるウィリアム・シェイクスピアの言葉だそうです。第2研究生の皆さん、いつもの自分らしさを忘れずに！！

第2研究生 「富良野の魅力探訪」

富良野の良さは、豊かな自然ですか？食べ物ですか？ワインにへそ祭りに演劇でしょうか。

富良野の自然と歴史と文化から平澤流の富良野の魅力が浮かび上がってくるのでしょうか。

久しぶりの学年別研究です。心から応援します！個人発表も期待しています……

本科3年・大院1年「日本の文化を探る」

詳しい資料が山ほどありますが、さてどう分析していけば良いのでしょうか。私たちには小さい頃の神社での思い出がきっとあるはずです。私は上川神社…そこは私たちだけの秘密の空間、探検と冒険と開拓の場でもありました…

そんなところから文化はあるのでしょうか…

本科1年生 ただいま検討中

コロナ禍が3年続きましたが新1年生にとって、この学年別研究って何？課題別って何な？と思うのも無理はありません。

そんな中で共通の課題を見つけるのは大変です。しかし、大切にしてほしいのは、仲間とのコミュニケーションであることを忘れないで、みんな協力し合うことが大前提です。

心配はいりません。応援しています！！

本日、5月24日(水)の日程

「第41回少年の主張大会」視聴

- 9時15分 朝の集い
- 10時00分 クラブ学習開始
- 12時00分 クラブ学習終了

昼食を図書館で済まし、徒歩で新庁舎に移動します。上用は審査打ち合わせのあと審査員のため12時30分には会場に行きます。皆さんは帰宅できる状態での移動となります。

(クラブ学習終了後、山部校の皆さんも
交流室等で昼食を取ってください)

- 13時20分 会議室ABCに移動し着席
- 13時30分 「少年の主張」開始
- 15時30分 発表終了・審査集計

発表終了時刻が山部・東山バス出発時刻です。そしてことぶき大学も学習終了の時間です。もし可能であれば表彰式まで参加して下さい。中学生の励みにもなります。よろしくお願いします。

- 16時00分 講評・表彰式・閉会式

8/2(水)研修旅行参加者集約

少し先のことですが、自治会行事と事務局との共催での研修旅行を立案中です。現在、**エスコンフィールドへの日帰り研修**を検討しています。20名以上であれば「グループチケット」で予約可能です。参加可能か否か事前の出欠をとります。

- ① 平日で試合なし→入場無料
- ② ベイシックツアー→1800円
- ③ 昼食予約可能→1250~2450円
- ④ **キャッシュレス** (カード決済) 会場でも簡単に作成可能
- ⑤ 運転手の昼食 (人数割り)
- ⑥ バス・高速料金・駐車料金 (市で負担)

次回6月7日(水)の予定

- 9時15分 朝の集い
- 10時00分 クラブ学習開始
- 12時00分 クラブ学習終了
昼食・休憩
- 13時00分 コーラス・踊り
- 14時10分 学年(課題)別研究
- 15時00分 終了

6/21(水)合同スポーツ交流会 参加者集約(自治会より)

来月の6月21日(水曜日)は、一日日程で山部校との合同スポーツ交流会を実施します。富良野スポーツセンターを一日貸し切り、全員参加のフロアカーリングをし、その後昼食を挟んで「モルック」と「ボッチャ」をし、フォークダンスで終了の予定です。

昼食の準備もありますので参加集約をします。出欠一覧は学年に配布します。記入し提出ください。

図書館の駐車場

出来るだけ、お寺側(幼稚園側)からの駐車をお願いします。よろしくお願いします。



コーラス・踊りがスタート！



今年度最初の「コーラス」と「踊り」がスタートしました。このコーラスと踊りですが、平成30年5月29日提案しました。

「全員で取り組み、継続しつつより進化していくもの。より楽しく、より健康的で成果を発表する場の設定も可能。しかも、選択可能、そして指導者がいる。焦らず、無理なく、少しずつを合言葉に、ことぶき大学らしい新しい創造の場であること」……

そんな提案でした。歌が苦手、踊りも苦手という人もいますが、やってみると楽しいものですよ。



スコップ 三味線 同好会

スコップ三味線もスタートしました。久しぶりに新人3名が入会、富良野校10名と山部校の3名の計13名でのスタートです。スコップ三味線を開校50周年式典の広報誌や新聞などで知った方、老人クラブ連合会での芸能発表会

で知った方もおり、スコップ三味線をしたくてことぶき大学に入学した学生もいます。指導する先輩方の熱い思いが伝わってきます。



久しぶりに男性も入りスコップ三味線同好会大いに盛り上がっています！！

寄稿文

小学校2・3年生の可愛い高田さんがポツンと道路脇の草の上に座っている姿…心配してお父さんがトマトを持って自転車で迎えにきた情景…すごく優しい印象派的な風を感じます…高田さん、思い出の寄稿文、ありがとうございました。

小供の頃の思い出

第2研究生 高田江美子

小学校2・3年の頃、学校帰りにお弁当を忘れたのか？…空腹でもう歩けないと思っ道端の草の所にすわり、低い所を流れる小川の水を見ていると、父がトマトを持って自転車で迎えに来てくれました。

家にもどりごはんをしっかり食べるが、すぐ元気になれず、しばらく横になり元気を取り戻すことができました。

大人になってからも3回ぐらい体がだるくなり普段飲まない甘いジュースを飲むと割と元気になります。

今、70代後半になっても出かける時は、チョコや甘い物と水分は必ずバッグに入れてあります。





ティータイムコーナー！

何と私が希望していたウッドベース（ジャズ）を弾く「妖精」が完成しました。「人間になろうとしている妖精」ということです。妻はおよそ2日で仕上げましたが、それからが長いのです…「人間になりたい」「人間にあこがれている妖精」「人間って本質的に善である」というのが妻の発想です。私も同感です。ベースというのはエレキギター



で、エレキでないものはコントラバスです。

秋にはジャズクインテットをお披露目してほしいです…

週末に映画「マイ・ブルーベリー・ナイツ」を観ました。舞台はニューヨークのカフェ、そのオーナーがジュード・ロー、そして主演は歌手のノラ・ジョーンズ……

その彼女のために毎晩彼女の席とブルーベリーパイを用意している…

このジュード・ローが実にさりげなく、穏やかで優しい…そして何よりもとても美しい作品です。私も、将来！？カフェのオーナーになりたい！！と思いました。

舞台のような演出と少ないキャスト（ナタリー・ポートマンが妖精のようなんです）見終わった後は勿論コーヒー…

作家・大江健三郎との再会

週末、NHKのアーカイブで「作家・大江健三郎 100年インタビュー」が放映されていました。途中からでしたがとても興味が湧きました。渡邊あゆみアナウンサーの姿勢がとても良かったです。長編小説「水死」を通して、新しい文体を獲得するため経過についていろいろとインタビューする渡邊アナウンサーが実に誠実で良い。尊敬のまなざしの中に大江健三郎の内面に問いかけようとする探求心を感じる…そしてそれをまるで自分の教え子のような優しいまなざしで淡々と語る大江健三郎…その両者がとても良かったです。

大江健三郎の父の存在、そして障がいを持つ息子の存在、スタジオから離れて大江の自宅を訪れた渡邊アナウンサー、書斎が意外にシンプルで整然としていたことへの驚きと安心感がこちらにも伝わってきました。自分の作品に対してとても謙虚であり一度完成したものを初めから一字一句時間をかけ文体を見直していくことで納得した作品に近づける……その時代や社会の影響を少なからず受けていることを常に自覚しつつ、日本語のみならず外国語のリズムや響きを取り入れ文体をさらに吟味していく…謙虚さは読者への気遣いなのか。そして熟成された新しい文体の作品が仕上がる…今年の3月3日に88歳でなくなった大江健三郎と久しぶりに再会しました。

手元に読まずにあった赤い表紙の「万延元年のフットボール」、英語講師の夫と妻、その間に重篤な脳に障がいを持つ子供がいる…夫婦関係は崩れ、そして妻はウイスキーに溺れている…今、やっと読んでみたいと思っています。いつかことぶき大学でも紹介したいと思っています…最後に大江健三郎が言っています。「私は性善説です」！

